

4 これまでの雨水整備クイックプランの評価

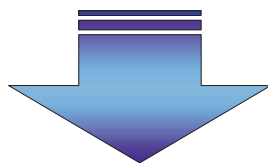
(1) ハード対策（施設整備による対策）

クイックプラン前期5カ年の評価

- ・ 浸水被害が発生した地区において速やかに対策を実施
- ・ 対策が完了した地区においては、お客さまが実感できる浸水被害の軽減効果を短期間に発現

- ・ 重点地区（全30地区）は全て着手、うち4割に当たる12地区が完了（p.14 参照）
小規模対応箇所（全82箇所）は1箇所を残し完了（p.15 参照）
地下街等対策地区（全4地区）は全て着手（p.15 参照）
ポンプ対策地区（全9地区）は3地区が完了（p.15 参照）

- ・ 対策が完了した重点地区については、「整備前後の浸水発生状況」及び「流出解析シミュレーション」により事後評価を実施し、整備効果を確認（p.16～18、巻末資料参照）



今後の展開（新クイックプラン）

- ・ 繰り返し浸水被害が発生している地区は原因を分析し、対策を速やかに実施

- ・ 新たに追加した重点地区では、流出解析シミュレーションにより事前評価を実施し、浸水範囲、浸水深の減少などの事業効果を定量化

- ・ 事前評価の結果は、お客さまに浸水被害軽減などの事業効果を分かりやすく説明する資料として活用

(2) ソフト対策（リスクコミュニケーションの充実）

クイックプラン前期5カ年の評価

ソフト対策として各種の情報提供を実施

① 「浸水予想区域図」の作成・公表（p.37 参照）

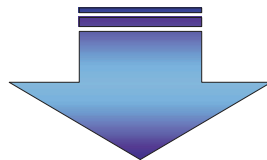
- ・ 神田川など5河川流域の浸水予想区域図を河川管理者と連携して作成・公表
- ・ 区による洪水ハザードマップの作成を支援（7区で作成・公表済み）

② 降雨情報の提供（p.39 参照）

- ・ ホームページや携帯電話に「東京アメッシュ」を配信
- ・ 平成15年度のアクセス件数がホームページで約300万件、iモードで約260万件など、多くのお客さまが利用

③ 幹線水位情報の提供（p.40, 41 参照）

- ・ 立会川幹線など7幹線の水位情報を5区に提供
 - 品川区（戸越幹線、立会川幹線）
 - 中野区（桃園川幹線）
 - 目黒区（蛇崩川幹線、羅漢寺川幹線）
 - 世田谷区（蛇崩川幹線）
 - 渋谷区（宇田川幹線、千駄ヶ谷幹線）



今後の展開（新クイックプラン）

【ソフト対策の継続的な取組】

① 浸水被害を軽減するため、各種の情報を引き続きお客さまに提供

- ・ 浸水予想区域図の作成・公表
- ・ 降雨情報の提供（東京アメッシュ）
- ・ 幹線水位情報の提供

② 内容の充実

- ・ 近隣県市の降雨情報との連携や精度向上を図るなど「東京アメッシュ」を充実